

平成26年度立川市子ども委員会活動報告

落書き部会

普段から町を歩く中で落書きが多い印象を受けたので、今年は、「落書き」をテーマにし、どうしたら落書きが減るのか、再度落書きをされないためにはどうしたらよいか考え、活動に取り組みました。

～話し合いのなかで落書きを減らす対策として、次のような意見がでました～

- 1、落書きを消す
- 2、落書きのあるところに看板、ポスターを貼る
- 3、グリーンカーテンをして再発を防ぐ

～落書きを消すことについて考える～

具体的にどう消せば良いかわからなかったので、落書きが多くありそうなファーレ立川の清掃活動に参加することにしました。

～ファーレクラブの会長さんとお話することができました～

お話のなかで落書きを消すにも許可が必要であることや、作品を壊さないことに気をつける点があることを知ることができました。



～ファーレクラブ会長さんのお話を聞いての感想～

わたしはなぜ落書きをするのか疑問に思いました。落書きをした人はほんの些細な気持ちで落書きをしたのかもしれませんが。しかしその落書きを消す人はとても手間がかかります。お金もかかるし、ましてやファーレの作品に落書きをされるとお金がかかるだけではなく、作品に傷がつくかもしれません。こんなにも、落書きを消す人は手間をかけているにも関わらず、今でも落書きを続けている人を私は許せません。

中学校1年生

実際、ファーレの清掃活動に行ってみましたが、落書きは一切ありませんでした。でも、ファーレの作品に落書きを書かれてしまったとき、僕はいろいろ大変だなと感じました。

小学校6年生

～自分たちでも出来る活動をもう一度話し合い、次のことをやることにしました～

- 1、落書きの啓発ポスターをつくる
- 2、地域で落書きが多い場所を探し、盛り込んだ落書きマップをつくる

～落書きの啓発ポスター作り～



～どんな想いのポスターを描いたか?～

このポスターは、落書きを見ていやな思いをしている人がいることを知ってもらい、少しでも落書きが減ってほしいという想いで書きました。

小学校4年生

私は、一つの落書きでも町の印象が悪くなり、悲しい気持ちになる人がいるので、嫌な思いをする人が少しでも減ってほしいという想いで書きました。

中学校3年生

～落書きマップづくり～

落書きマップを作製していくなかで、幸地域に落書きが多いことを知り、みんなで調査に行きました。



スプレーで描かれた
落書きが多く、
その周辺にはゴミが
捨てられていることが多い
印象でした。

～実際に調査してみたの感想～

調査では、探してからすぐに落書きが見つかりびっくりしました。調査だけでも25個の落書きがありました。

小学校6年生

調査してみて、立川市には、たくさんの落書きがあることを改めて実感しました。これから落書きをする人が少なくなってくれば、立川市はもっと良くなると思います。

小学校3年生

～調査を終え、改めて落書きについて話し合い次のような意見が上がりました～

- 落書きをする人はみんなに見て欲しいだけでなく、ストレス発散や、縄張り、存在の主張などの気持ちがあると思う。
- 小さな落書きでも、町のイメージが悪くなり、治安の悪化にもつながる。
- 自分たちが思っていたより落書きは少なく、消し跡なども多くあったので、落書きをなくすために頑張っている人がいる。

～そこで、私たちは立川市に次の二つの提案をします～

- 1、私たちが作ったポスターを多くの場所に貼らせてもらい啓発をしてほしいです。
- 2、落書きを消すだけでは対策にならないと思うので立川市のアートとした展覧会や、落書きできるイベントを開催してほしいことです。

例えば、八王子市では落書きアートフェスタが行われていて、たくさんの方が参加しています。このようなイベントがあれば、落書きをしたいというストレスを発散できると共に、落書きについて考えるようになり、落書きが減ると考えます。

～「落書き」について活動してみて～

1年間落書きについて活動してみて、私たちも力になっていき地域をきれいにしたいという気持ちになりました。この活動を終えた後も、地域の清掃活動に積極的に参加していきたいと思っています。